

「正義と国際社会」(仮)

人権、民主主義、法の支配という規範のグローバル化を背景に「グローバル社会」の国際秩序の問題、あるいは国内秩序の問題として「正義」が議論されるようになりました。正義の問題は、国際規範と国内秩序との関連で国際干渉の正当性の問題、および体制移行過程における過去の不正・人権侵害との関連で移行期正義の問題として問われております。国際干渉の正当性問題には、人道的介入の問題、人道に対する罪の訴追問題、「保護する責任」問題などが含まれると思います。一方、体制移行期または紛争後平和構築過程における移行期正義の問題には、人権侵害の協力者・加担者の裁き、真実和解委員会などを通して過去の真実の追求、旧体制の責任者の「浄化」(lustration)、被害者への謝罪と補償、法の支配の構築による制度改革などが考えられます。

グローバル化時代の正義の問題は、人間の安全保障に深くかかわるだけに、国際政治の重要なテーマであると思われます。本特集号は、正義を、誰が、いかに実現させるか、どのような手法で実現できるのか、について考察を試みます。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと要旨を600-800字程度にまとめ、自宅・勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレスを明記したうえで、2011年10月31日までに編集責任者へメールでお送りください。テーマとの関係、本特集号の全体構成などを総合的に検討したうえで、執筆をお願いする方には、2011年11月30日までにご連絡いたします。なお、論文の最終提出の締め切りは2012年6月30日、論文の分量は注を含め2万字以内とします。提出いただいた論文は、2名以上の匿名査読者による査読の対象となります。修正を含め最終的な掲載の可否は査読後に決定しますので、この点を含めてご了承ください。

執筆要領については学会ホームページをご参照ください。要領を順守してのご執筆をお願いいたします。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お申し込みやお問い合わせは、以下の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 吉川元

《連絡先》 102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学外国語学部

電話 03-3238-3569 FAX 03-3238-3592

Email: g-kikkaw★sophia.ac.jp (★を@に置き替えてください)